

みんなで目指そう！ 洞爺湖町の脱炭素社会

■問合せ 産業振興課ゼロカーボン推進係(☎74-3005)

第3回のテーマは
「脱炭素へ向けて一人ひとりができること」です！

ゼロカーボンシティに向けた挑戦

地 球温暖化は、気候変動を引き起こし、氷河の融解や海面水位の上昇、洪水や干ばつ、陸上や海の生態系への影響、食料生産や健康など人間への影響を及ぼす全世界共通の課題です。

この課題を解決するため、日本では脱炭素社会の実現、すなわち2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を目指すとされており、洞爺湖町も同様に「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを令和5年1月に表明しました。

ゼロカーボンアクション30

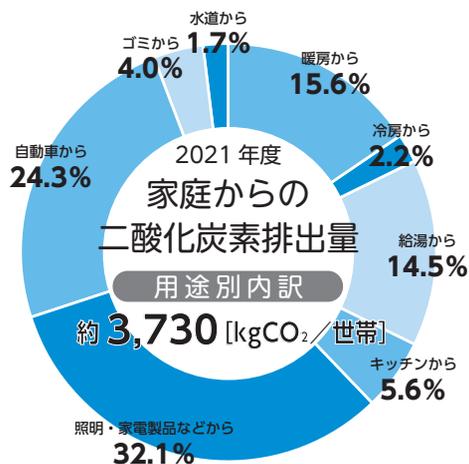
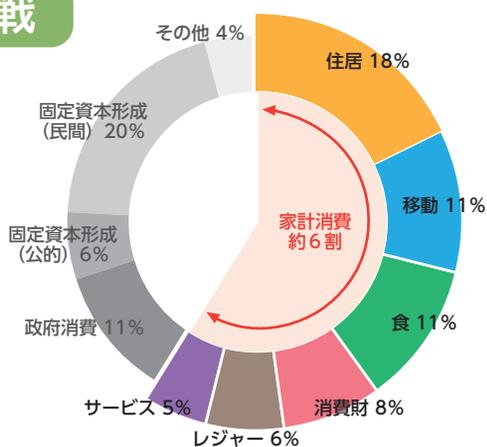
環 境省のCOOL CHOICE (クールチョイス) ウェブサイトによると、衣・食・住・移動など、私たちが普段の生活の中で消費する製品・サービスのライフサイクル(製造、流通、使用、廃棄などの各段階)において生ずる温室効果ガスが、我が国の二酸化炭素排出量の約6割を占めています。

また、全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトによると、家庭からの二酸化炭素排出量の用途別内訳は「照明・家電製品などから」が32.1%と最も多く、次いで「自動車から」が24.3%、「暖房から」が15.6%、「給湯から」が14.5%となっています。

私たちが生活の中でちょっとした工夫をしながら、無駄をなくし、環境負荷の低い製品・サービスを選択することで、こうしたライフスタイルに起因する二酸化炭素削減に大きく貢献できます。

環境省では、日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリットを「ゼロカーボンアクション30」として整理しています。

地球環境の未来を守るため、できることから取り組んでみましょう！



出典：温室効果ガスインベントリオフィス

ひとりひとりができること ゼロカーボンアクション30の紹介

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。できることから取り組みましょう。詳細は環境省のホームページで紹介しています。

▶環境省HP



第4回のテーマは「家庭でできる地球温暖化対策」です！

今回から3回にわたり、家庭(個人)でできる取組の一部を紹介します。

1 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定しましょう

CO2削減量 約33kg/年

節約金額 約1800円

最近では温暖化の影響でエアコンを設置している家庭も増えたきたと思いますが、スイッチを入れる前にもより冷房は高く、暖房は低く温度を設定しましょう。

2 お風呂の残り湯を洗濯に利用しましょう

CO2削減量 約7kg/年

節約金額 約4200円

残り湯を洗濯や庭の水やりに利用したりすれば省エネにもなります。

3 シャワーを1日1分家族みんなで減らしましょう

CO2削減量 約69kg/年

節約金額 約7100円

体を洗っている間、お湯の流しっぱなしを止めれば1分の節約はすぐに達成できます。

4 待機電力を50%削減しましょう
ジャーなどの保温も止めましょう

CO2削減量 約114kg/年

節約金額 約5300円

テレビやビデオなどの主電源を切り、長時間使用しない場合はコンセントを抜きましょう。
また、ジャーやポットの保温も多くの電気を消耗します。ごはんはレンジで温め直す方がお得です。

5 テレビを見る時間を1日1時間減らしましょう

CO2削減量 約14kg/年

節約金額 約800円

ながらテレビを止め、見たい番組を選びましょう。
食事中にテレビを消せばごはんもおいしく食べられます。

6 家族で団らんし、利用しない部屋の暖房と照明を2割減らしましょう

CO2削減量 約238kg/年

節約金額 約800円

家族で過ごす時間を増やし、コミュニケーションをさらに増やしましょう。家族の絆が深まり、一石二鳥です。

次回に続く！

次回のテーマも引き続き「家庭でできる地球温暖化対策」についてです